

<2019年度 ハローオリンピック事業>
オリンピック教室
実施報告書

埼玉県 川越市立富士見中学校



「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間 (50分)



2時限目
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

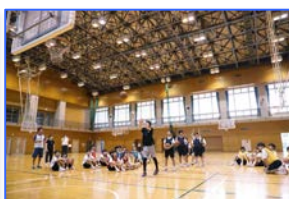
まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

実施内容

■期 日 : 2019年10月4日 (金)

■ク ラ ス : 2年3組 (38名)

■オリンピアン : 岡里 明美 先生 (バスケットボール) 【出場オリンピック/アトランタ大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (1時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



・自己紹介後、オリンピックバリューについて説明。運動の時間は「間違ってもよいので失敗を恐れず、元気に積極的にチャレンジする」等を意識するよう伝え、準備体操に移る。

2. 準備体操



3. 主運動



・バス回し競走とシュート競争を実施。



4. まとめ



・タイムを縮めるにはどうしたらよいかを話し合い、作戦を練って一生懸命チャレンジしたこと、授業冒頭に約束したルールを守り、積極的に取り組んでいたことが素晴らしかったと生徒を称え、次の座学の時間では、オリンピックに出場するまでの経験を伝えるとともに、運動の中で「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」がどう関係していたのか、日常生活とどう絡んでいくのかを考えていきたいと説明し、授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（2時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



・アトランタ大会に出場するまでの経験を踏まえ、オリンピックやオリンピックの価値について話していくので一緒に考えようと授業の目的を確認。

3. グループワーク



発問①：運動の時間を振り返りオリンピックバリューに当てはまる行動や考えを書き出してみよう。

発表①：「シュートを外しても諦めない、笑顔で楽しくできた、ボールを積極的に取りに行った」(エクセレンス)
 「名前を呼びあってパスをする、パスの力加減を考えた、協力してやった」(フレンドシップ)
 「アドバイスをしっかり聞く、失敗しても前向きな声掛けをする」(リスペクト)

発問②：日常生活の中で取り組みたいこと、頑張りたいことを書き出してみよう。(生活、合唱祭、勉強)

発表②：「目標を達成するために頑張る、合唱祭の歌練習を頑張る、苦手なことややったことないことに挑戦する」(エクセレンス)
 「わからないことを教えあう、失敗したことを責めない、人の気持ちを考えられる人が多い」(フレンドシップ)
 「家族への感謝、校庭や体育館へ入るときに一礼をする、意見を言った後に拍手をする」(リスペクト)

4. まとめ



・オリンピックバリューの中で特に大切にしたいのはリスペクトであり、両親や先生、友達等へのリスペクトだけでなく、自分に対してのリスペクトも忘れないでほしい。東京2020大会では、他国の人と積極的に交流することもオリンピックの楽しみ方の1つであり、自分自身の成長にもつながる。オリンピックで自分自身のステップアップの機会にしてほしいと伝え、授業終了。

実 施 内 容

■期 日 : 2019年10月4日 (金)

■ク ラ ス : 2年1組 (38名)、2年2組 (39名)

■オリンピアン : 勅使川原 郁恵 先生 (スケート/ショートトラック) 【出場オリンピック/長野大会、ソルトレークシティー大会、トリノ大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



・自己紹介の後、オリンピックバリューについて学んでもらいながら楽しく授業していきたい。運動の時間は「エクセレンス＝全力で頑張る、諦めない」を意識して全力でチーム(班)のために頑張ってもらいたいと伝え、準備体操に移る。

2. 準備体操



3. 主運動



・ショートトラックスピードスケート風雑巾がけリレーを実施。



4. まとめ



・運動の時間を振り返り、皆が全力で取り組んでいる姿がとてもよかった。ロープを触ってしまったことを認め、正々堂々と戦ったことに「リスペクト」があった。運動の中でオリンピックバリューを感じてもらえたと思う。詳しくは次の座学の時間で考えていきたいと伝え、授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・現役時代に使用していたショートトラックスピードスケート靴のブレードと映像を見せながら自己紹介。
- ・オリンピックバリューについて、「エクセレンス＝卓越、諦めない、ベストを尽くす、一生懸命頑張る」、「フレンドシップ＝友情、仲間、お互いを理解する」、「リスペクト＝敬意/尊重、感謝、ルールを守る」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：合唱祭を成功させるために、どのように取り組めばよいかオリンピックバリューに当てはめて書き出してみよう。
- 発表：「1つ1つの練習を大切に、つまずいても諦めない、金賞を目指してベストを尽くす、最後まで諦めずに練習する」(エクセレンス)
 「チームワークを大切に、仲間と協力をする、皆で力を合わせる、皆が同じ気持ちになる」(フレンドシップ)
 「先生等、教えてくれる人に感謝する、時間を大切にする、お互いを褒め合う、アドバイスをよく聞く」(リスペクト)

4. まとめ



- ・オリンピックバリューはオリンピック選手だけのものではなく、皆にも共通する大事なことである。これからの人生、仲間を大切に、今ここにいるのは支えてくれる周りのお陰であることに感謝の気持ちを持ち、やると決めたらベストを尽くして悔いの残らないように頑張ってもらいたい。オリンピックバリューは夢を叶えるための重要なキーワードであり、意識することで人生が豊かになる。オリンピック教室で学んだことを心に刻み、夢に向かって頑張ってもらいたいと伝え、授業終了。

■ 集合写真
2年1組



2年2組



■ 集合写真
2年3組



■ 記念品贈呈
2年1組



2年2組



2年3組



■ 修了証贈呈

